

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日 平成 28 年 4 月 5 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系上の位置付け, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '自動車騒音常時監視業務' and '生活環境の保全'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about noise measurement and evaluation methods.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing performance indicators and trends for 26-30 fiscal years. Includes rows for '調査対象路線の事前現地調査', '対象', and '意図'.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input costs and trends for 26-30 fiscal years. Includes categories like '国庫支出金', '事業費計(A)', and '人件費'.

Table showing internal costs for 27 and 28 fiscal years. Includes '13 委託料' and '合計'.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 28, 29, and 30 fiscal years. Includes a list of activities like '主要事業', '市長マニフェスト', etc., with an arrow pointing to the right.

事務事業名	自動車騒音常時監視業務	事務事業No.	41103000239	所属課	環境対策課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？  
 「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」により、常時監視は平成24年度から法定受託事務とされた。経緯としては、自動車騒音対策を計画的総合的に行うために、地域の騒音暴露状況を経年的系統立てて監視することが必要不可欠であると、平成10年の騒音規制法改正時に新設された。自動車騒音の状況・対策の効果等を把握し、自動車騒音公害防止の資料とする。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 特になし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	自動車騒音公害防止の基礎資料となる。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	平成24年度から法定受託事務（「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」）
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	監視の対象となる道路は、環境省マニュアルによる
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	騒音規制法18条により廃止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）→	<input type="checkbox"/> 余地がない	具体的手段、事務事業名 外に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	必要最小限の経費である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	対象路線については、5年ローテーションで市内を調査するので公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	評価対象路線における道路に面する地域に立地している住居等においては、概ね環境基準を満たしていた。基準を超過している路線(過年度)もあることから、引き続き評価を実施していく必要がある。																														
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持	○																													
低下	維持																														
	低下																														
		(6) 事務事業優先度評価結果																													
		成果優先度評価結果	⑦																												
		コスト削減優先度評価結果	①																												

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>